

# 一般財団法人日本気象協会 中部支社

## SDGsの取組

取組・活動内容	<p>一般財団法人日本気象協会は1950年の設立以来、気象・環境・防災などに関する調査解析や情報提供を行ってきました。近年では、高精度の気象情報をはじめとするビッグデータを活用し、社会経済活動を予測することで、環境保全や安全対策をはじめ、社会的課題の解決を提案しています。</p> <p>気象データを活用した商品需要予測【eco×ロジ プロジェクト】では、さまざまな企業の製造・配送・販売の最適化をサポートし、食品等のロス削減・エネルギー使用合理化・CO2削減に貢献しています。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 8、9、12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【eco×ロジ】過去の需要データと気象予測を活用し、高精度な食品の需要予測を行い、食品ロス削減に貢献</li> <li>・気象予測にAI等の最新技術を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【eco×ロジ】全体で50件の支援を実施（2025年まで）</li> <li>・気象予測・AI等新技術活用に関する技術研修を年5回以上実施（2025年まで毎年）</li> </ul>
	社会 7、9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【eco×ロジ】需要予測による製造・配送の効率化により、エネルギー使用量削減に貢献</li> <li>・気候変動等をテーマにした講演・メール配信を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演等を年5回実施（2025年まで毎年）</li> <li>・メールマガジンを毎月配信（2025年まで毎月）</li> </ul>
環境 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【eco×ロジ】需要予測による製造・配送の効率化により、CO2排出量の削減に貢献</li> <li>・エネルギー効率の良い機器の導入</li> <li>・グリーン購入法適合商品の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部支社執務室エリアの照明機器LED化 0%⇒75%（2025年まで）</li> </ul>	